



国家公務員共済組合連合会

佐世保共済病院 広報誌

2017
vol.17
第4号

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper



「ミコアイサ」目の周囲が黒く、パンダに似ていることから人気の冬鳥です。 撮影：脳神経外科顧問兼部長 山川勇造先生

INDEX

- ごあいさつ 事務部長 畑 宏明 ①
- 消防局との情報交換会開催
- 新採用医師の紹介 ②
- 健康教室の報告とご案内
- 診療活動の現況 — 腫瘍内科 — ③④
- 趣味を語る ⑤
- 医療を支える人々 ~リハビリテーション科~
- 地域医療連携室より ⑥
- 年末年始の管理当直体制
- 編集後記
- 外来診療担当表 ⑦

ごあいさつ

事務部長 畑 宏明



早くも2017年も終わりを迎えようとしています。毎年のことながら世間では色んなニュースが取り沙汰されましたが、佐世保共済病院の2017年の大きな出来事は、4月より医師が6名増員となり、充実した診療体制を作ることができたことです。特に内科系の医師が増員となったことにより、新たに総合内科と腫瘍内科を新設することができました。腫瘍内科を開設したことにより、医師を中心に認定薬剤師や看護師、メディカル・ソーシャルワーカー等とのチーム医療を展開し「がん化学療法」を主体とした、がん患者の診療を開始しました。

また、内科系医師が増えたことで、佐世保市二次救急医療輪番病院の当番回数を増やすことができ、地域住民の皆さまには少しは貢献できたのではないのでしょうか。

本院が所在する県北地区は、小児科や産婦人科を開業する医師の高齢化が進んでおり、地域における「周産期医療」や「小児救急」が危機的状況に陥っています。そこで今年は、内科以外に小児科医も1名増員となりましたので、「周産期医療」対策としてNICU（新生児治療室）3床を開設し、「小児救急対策」としまして佐世保市急病診療所が稼働していない、休日夜間（毎月第1・第3日曜日20:00～23:00）の小児救急診療を開始しました。これからも「周産期医療」や「小児救急」につきましては、佐世保市総合医療センターを補完する立場で地域の皆さまに貢献できればと思っております。

以上が2017年の主な出来事でしたが、来年以降も本院の井口病院長が常々申しております「各診療科の特徴を前面に打ち立てた診療を行ってゆく」をモットーに、地域医療に貢献して参りますので、地域住民の皆さまや日頃から本院にご協力いただいております連携医療機関の皆さまには引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

消防局との情報交換会開催

救急委員長 井原 司

佐世保消防局と本院救急スタッフとの「救急業務に関する情報交換会」を10月13日、本院の8階講堂で開催しました。当日は143名（消防局より58名 本院から85名）と多くの関係者に参加していただきました。

交換会は①消防局より「県北地域の救急の現状」の説明。そして7月の九州北部豪雨の救助活動の報告②本院の乾救急隊長より「本院の受け入れ体制と救急マニュアル」の説明③救急隊による「救急現場でのシミュレーション」。今回は転落事故による骨盤骨折の事例での現場での処置、搬送手順などの実技指導をしていただきました。④最後に質疑応答があり、救急隊より搬送に困った事例の質問があり本院の担当医師が対応しました。その後の懇親会では救急隊員と本院スタッフが賑やかな雰囲気情報交換を行い、盛会のうちに充実した連携会を終了いたしました。

今回この情報交換会も3回目となりました。今後もこの会を開催し、お互いの状況、情報を共有し、救急患者の搬送、受入を円滑にできるように救急隊と緊密な連携を結んで行きたいと考えます。本院では救急受入も毎年増えてきており、今年11月の時点では昨年以上の受入数となっています。

今後は断らない救急を目指し、本院の救急の体制を整え、県北地域の救急医療に貢献していきます。



新採用医師の紹介



外科 ^{しらはま}白濱 ^{たかひさ}貴久

出身大学：久留米大学
平成18年卒
在籍医局：久留米大学
専門領域：消化器外科
肝胆膵外科
出身地：佐賀市

佐世保市の地域医療に貢献できるよう頑張ります。



消化器内科 ^{きら}吉良 ^{けいし}圭史

出身大学：川崎医科大学
平成25年卒
在籍医局：長崎大学
消化器内科
専門領域：消化器疾患
出身地：長崎市

よろしくお願いします。

健康教室の報告とご案内

研修委員会事務局 山口 雅子

平成29年10月より、地域の方々の健康づくりに役立つ情報を定期的に提供することを目的に、健康教室『学ぼう身近な医学』をスタートしました。医師・薬剤師・看護師・事務員の多職種チームで手探りの中スタートした教室ですが、10月・11月の開催で、30代～80代の延べ115人の方にご参加いただき「わかりやすかった」「参考になった」などの声をいただきました。

これからも毎月第2火曜日14時から開催して、皆様の健康づくりに貢献できる教室を目指していきたいと思います。参加費は無料で、どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。また、開催前の13時半からの30分間は、看護師による「健康チェックコーナー」も設置しています。

今後はより参加者のニーズに基づいたテーマや内容を選定していく予定です。ご希望のテーマがありましたら、教室スタッフまたは総務課までご相談下さい。

【平成30年1月～3月の予定（仮題）】

- 1月教室：1月9日（火）14時～
くすりに関するお話・検査に関するお話
講師：薬剤師、臨床検査技師
- 2月教室：2月13日（火）14時～
外科の身近な話題
講師：外科医師
- 3月教室：3月13日（火）14時～
医療保険制度について学ぼう！
～入院費ってどのくらいかかるの？～
講師：医療ソーシャルワーカー



健康チェックコーナー



10月「嚥下障害の診断と治療」



11月「緩和ケアについて」



腫瘍内科医員
二尾 健太

【はじめに】

4月より腫瘍内科を開
設し、半年が経ちました。
着任直後より院内外の先
生方より多数の患者様を
ご紹介頂き誠にありがと

うございます。皆様のご協力を頂き徐々にで
はありますが診療体制も整って参りました。
4月から半年の診療状況をご報告させていただきます。

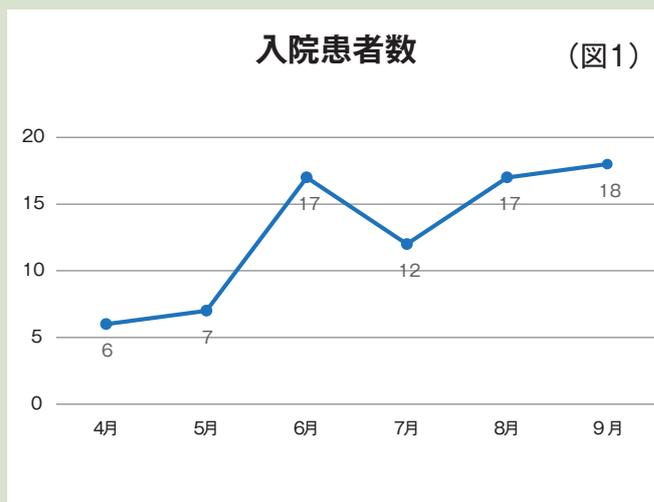
【対象疾患】

1. 消化器癌
(食道・胃・大腸・膵臓・胆道・肝臓)
2. 乳癌
3. 原発不明癌
4. 肉腫 (GIST・軟部肉腫)、その他

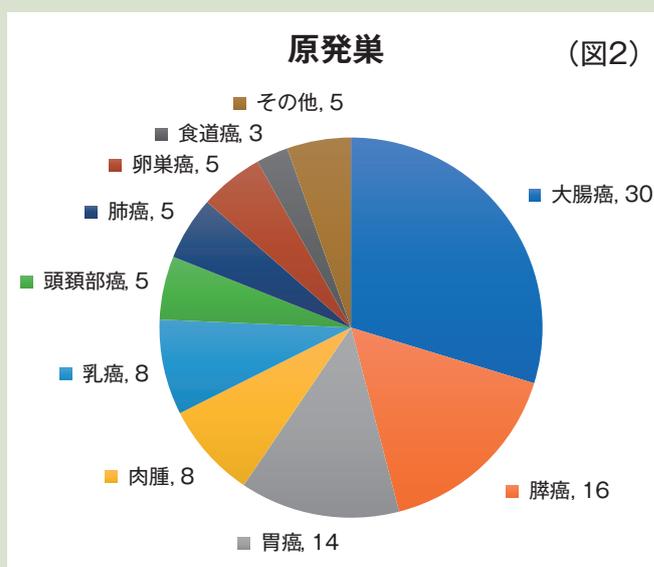
腫瘍内科はがん診療を専門とした内科であ
り、原発臓器、疾患にとらわれず、悪性腫瘍
全般を対象としております。ご高齢の方、全
身状態が悪い方、多数の合併症がある方、複
数の癌を同時に抱えておられる方など、方針
に悩まれる症例であっても、最善と考えられ
る治療を患者さんと相談し決定しておりま
す。しかし、上記疾患であっても放射線治療
が必要な症例など、他院での治療が最適と考
えられる場合には近隣の病院へ紹介させて頂
く場合もあります。

【当科の現状】

9月までに当科で治療を行った悪性腫瘍患
者数は37名、延べ入院患者数も4月以降徐々
に増加傾向となり77名となりました(図1)。

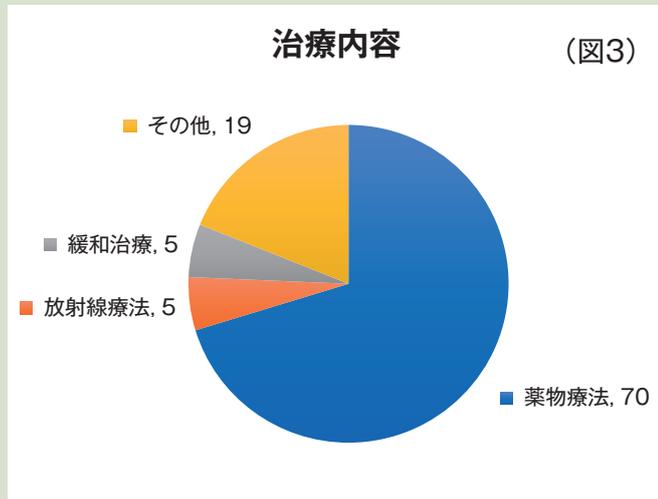


原疾患としては大腸癌(30%)の方が最も多く、
次いで膵癌(16%)、胃癌(14%)の順であり、
消化器癌が中心となっています。しかし、そ
の他にも肉腫、乳癌、頭頸部癌など全身の様々
な癌の治療を行っております(図2)。



治療内容としては抗癌剤を中心とした薬物
療法を行った方が70%と最も多いですが、患

者さんの状態によっては、放射線治療や緩和治療に専念する方がよい場合もあります（図3）。



また薬物療法により切除不能であった癌が、手術可能となる場合もあり、外科や放射線科と定期的に合同カンファレンスを行い集学的治療にも対応できる体制を整えています。

【免疫チェックポイント阻害薬への対応】

「手術療法」、「放射線療法」、「薬物療法」というがんの3大治療に加え、第4の治療として「免疫療法」が実際に臨床の現場にも導入され始めました。悪性黒色腫、非小細胞肺癌、腎細胞癌、ホジキンリンパ腫、頭頸部癌に続き、9月には胃癌でも免疫チェックポイント阻害薬（ICI）の一つである抗PD-1抗体薬が承認されました。ICIの適応は今後も拡大していくと考えられ、その治療効果が期待されます。一方でこれまでの抗癌剤では経験しなかったような自己免疫関連の有害事象が報告されており、適切な患者選択、モニタリ

ングが不可欠です。当院でもこの様な新規薬剤を適切に使用するための体制を医療スタッフと共に整えております。

【治験・臨床試験】

当科では標準治療のみならず、患者さんの希望がある場合には新薬の治験・臨床試験をご提案する場合があります。実際に2名の方が治験のため九州がんセンターを受診されました。また当科は西日本がん研究機構（NPO-WJOG）の参加施設にもなっており、消化器癌の臨床試験も行っております*。

* WJOG8315G 高齢者切除不能・再発胃癌に対するS-1単剤療法とS-1／L-OHP併用（SOX）療法のランダム化第Ⅱ相試験

【おわりに】

近年のがん治療、特に薬物療法の発展も目覚ましく、がん治療はより専門的となってきました。更に日本は超高齢化社会を迎える中、がん以外の併存疾患をお持ちの方や社会的背景も様々です。当科はがん治療の専門科として日々多様化するがん診療に対応し、患者さん一人一人の状況にあった最適な治療を提供できるように努めてまいります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

鉄道趣味の世界は、「乗り鉄」、「撮り鉄」、「音鉄」等々と多様です。その中で「乗り鉄」が私の主な守備範囲です。

「鉄」欠乏症に陥ると「鉄分」補給のため列車に乗りに出かける次第。

往年の鉄道趣味の大家で阿房列車で知られる内田百閒（ひゃっけん）先生のように「長崎に行こうと思う。行っても用事はない。」というのが「乗り鉄」の理想型かもしれません。

先日は時間を見つけて近場の大村線南風崎駅へ出かけてみました。「南風崎駅」は有名な難読駅の一つです。この駅名を読めるのは、地元の人々か、そうでなければ鉄道趣味の人の可能性が高いとみられます。

普通列車に乗らなければ下車できない駅です。佐世保から普通列車に乗ると観光客で賑わうハウステンボス駅の次の駅が南風崎駅です。乗車した列車を南風崎で下車すると他の降車客もいなければ、乗車客もいません。閑散とした無人駅から列車が走り去ると一人だけホームに取り残され駅にゆっくりとした時間が流れます。ホームから木立越しにハウステンボスの建物群が散見できます。

しかし、かつてこの駅に乗降客が溢れかえっていた時期がありました。終戦後の復員の時代です。森繁久彌や赤塚不二夫もその中にいました。針尾島西海岸に検疫所、東海岸に援護局が設けられ南風崎駅から故郷へ帰還していました。南風崎発品川行き列車も走っていました。

援護局で帰国の手続きが行われていました。その援護局の場所が御存知の通りハウステンボスです。こんな風に鉄分補給を済ませ日常臨床のエネルギーの補給を行っています。



医療を支える人々 ~リハビリテーション科~ リハビリテーション技士長 指方 雅英

当科では、理学療法士 12 名、言語聴覚士 1 名、助手 1 名が勤務し、入院、外来を含め 1 日約 130 名の患者さんに対応しております。中でも中心となっていますのが整形外科術後の運動器疾患、次に内科・外科・耳鼻咽喉科に関連するがん疾患となっています。ここでは、これら 2 大疾患に関すること及び今年 4 月より稼働を始めた地域包括ケア病棟について紹介していきます。

運動器疾患 整形外科では様々な運動器疾患に対し手術が行われています。対象は肩疾患及び下肢疾患が中心となっています。肩腱板断裂に関する手術がここ 8 年間で年間平均約 60 例実施されております。この疾患に関しては、手術直後より装具装着を行いリハビリが開始されます。治癒に至るまで約半年間と長い期間を要します。下肢疾患につきましては、手術後荷重が出来ない患者さんに対しては、プール内歩行（流水歩行装置フローミル）を取り入れ早期より歩行訓練に取り組んでいます。

がんリハビリテーション 術前、術後、化学療法・放射線治療を受けている患者さんを対象に行われ、がんのリハビリテーション研修会を受講した専門スタッフが対応しています。

地域包括ケア病棟 手術後、病状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設への復帰支援に向けたリハビリテーションが行われます。当院では病床数 36 床を設置しています。

患者さんの社会復帰の手助けとなれるよう、チーム医療の一躍担い日々取り組んでいます。



前列中央 指方技士長

地域医療
連携室より
Part.
38

医療法人 博雅会 **田中 医院**

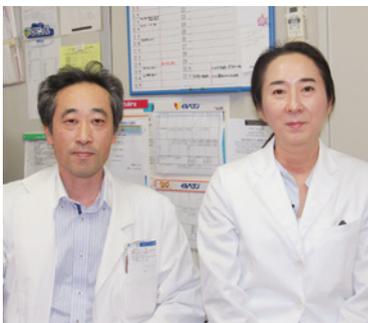
〒857-0871 佐世保市本島町2-11 TEL 0956-23-5308

理事長(皮膚科) **田中 雅子 先生**
院長(外科・内科) **田中 博也 先生**



医療法人 博雅会 田中医院は、本島町で、皮膚科 田中雅子 外科・内科 田中博也が診療しております。(よく間違われますが、夫婦ではありません。姉弟です。)

もともとは父が昭和 36 年に開業し、昭和 46 年



に現在の場所に田中病院を新築しました。その後、19床へ減床し、田中医院となりました。

すでに建物は老朽化しておりますが、今のところ入院もほぼそと行っております。かかりつけ医として、一般内科疾患・皮膚疾患・外科的な外傷・良性腫瘍の切除などを行っております。

当院にても、昔からの患者さんが多く、高齢化もあり領域をこえて診療を行なう必要がありますが、近年では高い専門性が求められることも多く、私の力不足もあり、近隣の先生や大きな病院に

紹介すべきケースも増えております。

また、当院では在宅訪問診療(自宅や施設)、特別養護老人ホームの嘱託医も行っており看取りのケースも多く、当院だけでは対応できない病態も多くなっています。

共済病院は、徒歩5分くらいの距離であり、当院を受診した患者さんに直接当日に診療を行っていただくこともあります。いつも急なお願いですが、御多忙のなか受け入れをしていただき感謝しております。その際は担当医師・看護師・病診連携室のスタッフの方々には、多大な御苦勞をおかけしていることと思います。

また、ここ数年前より整形外科においては、休日や夜間を問わず当番病院でないにもかかわらず対応していただき、重ね重ね感謝しております。

佐世保地域の医療においても、開業医と中核病院の協力が重要であり、共済病院なくしては、健全な地域医療は成り立たないと思っております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

年末年始の管理当直体制

	12/29 (金)	12/30 (土)	12/31 (日)	1/1 (月)	1/2 (火)	1/3 (水)
日直 8:30~ 17:30	耳鼻咽喉科	二次輪番日 内科 外科 整形外科	麻酔科	放射線科	整形外科	二次輪番日 内科 整形外科 外科
当直 17:30~翌8:30	外科		泌尿器科	内科	整形外科	

編集後記

先日地元サッカーチームである「Vファーレン長崎」が悲願のJ1昇格を決めました。

選手、監督、運営陣が一体感となり、昇格時は歓喜の瞬間でした。当院も年度末に診療報酬改定となっているため、この厳しい医療情勢をスタッフ全員が一丸となって対応していきたいと思っております。

編集委員 永田敬博



佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 29 年 12 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓	
	医長	金谷 晶子			●		●						腎臓疾患	
	医員	池田 裕貴	●				●						腎臓疾患	
	〃	淡浪 由希					●				●		腎臓疾患	
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患	
	医員	吉村 英恵	●						●				循環器疾患	
	非常勤医	田渕くみ子									●		循環器疾患	
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患	
	〃	溝口ミノリ			●								循環器疾患	
	〃	熊埜御堂淳									●		循環器疾患	
呼吸器内科	非常勤医	眞島 涼平	●		●								循環器疾患	
	〃	柴原 大典									●		呼吸器疾患	
糖尿病内科	〃	榎津 愛実					●						呼吸器疾患	
	非常勤医	牟田 芳美						▲	▲				▲は第2・4週のみ診察を行います	
消化器内科	部長	河野 健次			●		●						肝臓疾患	
	消化器センター長	宿輪 三郎	●								●		消化器内科疾患	
	医員	吉良 圭史					●						消化器内科疾患	
総合内科	部長	小川 隆一			●		●			■		■：心身医療診察日		
腫瘍内科	部長	井口 東郎					●						膵がん・胆道がん	
	医員	二尾 健太	●				●				●		1.消化器がん(食道がん・胃がん・大腸がん・膵がん・胆道がん・肝細胞がんなど) 2.乳がん、3.原発不明癌、4.肉腫(GIST・軟部肉腫)・その他	
	〃	篠原 雄大			●			●					消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科	
外科	副院長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科	
	乳腺外科部長	原田 洋			●								消化器外科・乳腺外科・一般外科	
	消化器外科部長	富崎 真一	●		●		●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科	
	肝胆膵外科部長	丸山祐一郎	●						●		●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科	
	医長	白濱 貴久			●						●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科	
	医員	緒方 傑					●		●		●		一般外科	
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵外科・消化器外科・一般外科	
	〃	武田 雄二								▲			呼吸器外科(▲は第1週のみ診察を行います)	
	乳腺外来		●		●		●					●		*乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい(要予約)
			白濱		緒方		原田					原田		
小児科	副院長	岡 尚記			●		●		※		●		小児アレルギー疾患、気管支喘息、小児一般	
	部長	上玉利 彰	●		●				●				小児血液、小児がん、小児一般	
	アレルギーセンター長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児アレルギー疾患、食物アレルギー、小児一般、気管支喘息	
	医長	村田 憲治	●				●		※		●		小児感染症、小児一般	
	アレルギーセンター副	濱崎 雄平							▲	▲			小児アレルギー疾患(▲は第3週のみ診察を行います)	
	※の第1・5週(村田)第2・4週(岡)が診察を行います													
		乳児健診					●							火曜 午後1時から診察開始 午後2時までに受付を行って下さい
	慢性外来							●					水曜 午後2時から診察開始	
	喘息外来									●			木曜 午後2時から診察開始	
脳神経外科	部長	山川 勇造		■				■	●	■		■	脳神経外科一般	
	医長	尾藤 昭次	●		●		●				●		■は午後1時30分から診療開始 午後4時までに受付を行って下さい	
整形外科	顧問	萩原 博嗣	●									●	膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科	
	部長	水城 安尋			●		●				●		上肢の外科(肩肘手)、足部外科、スポーツ障害	
	医長	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科(肩肘手)、スポーツ障害 *11/3まで休診	
	〃	烏山 和之	●						●		●		膝・股関節外科、リウマチ	
	医員	上田 幸輝	●		●		●						膝・肩関節疾患、腫瘍	
	〃	伊東 孝浩	●				●		●				膝・股関節疾患	
	〃	松尾 拓	●				●		●				整形外科一般	
〃	山名 真士			●							●		整形外科一般	
泌尿器科	部長	中村 貴生			●		●		●				尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染	
	医員	大坪亜紗斗	●				●				●			
産婦人科	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患	
	〃	木下秀一郎			●		●		■		●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患	
	医員	二尾 愛	■		●		●		●		●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日	
	〃	柿添 絵里	●		●		■				●			
眼科	〃	中村友里恵	●				●		●		■			
	医長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、翼状片手術、レーザー光凝固術	
※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)														
耳鼻咽喉科	部長	田浦 政彦	●		●		●		●		●		頭頸部腫瘍、嚥下障害、耳・鼻・咽喉頭などの手術	
	医員	友延 恵理	●		●		●		●		●			
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医長	梶原 寿浩												
	医員	近末 智雅												
麻酔科	部長	深野 拓	●								●		月～金午前ペイン・緩和ケア外来	
	医長	木本 文子			●		●						月～金午後は手術麻酔	
	医員	豊田 智美												
非常勤医	別府 幸岐													
ペリクニカ麻酔科	部長	境 徹也	●		●		●		●		●		月～金午後は手術麻酔 受診等のお問合せは、直接外来までお電話下さい。	
病理診断科	顧問	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般	
歯科口腔外科	部長	窪田 泰孝	●	※	●	※	●		●	※	●	※	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、口腔腫瘍、顎関節症	
	医員	藤永 貴大	●	※	●	※	●		●	※	●	※	菌性感染症など(※は予約患者のみの診察になります)	
	〃	濱田 雄太	●	※	●	※	●		●	※	●	※		
健診センター	健診センター長	佐藤 浩信	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155											
	医長	原 敬一												